

第 56 回日本神経学会学術大会のお知らせ

第 56 回日本神経学会学術大会
大会長 西澤 正豊

開 催 概 要

1. 学術大会会期：平成 27 年（2015 年）5 月 20 日（水）～ 23 日（土）
「社会の中の神経学～神経内科の社会貢献を考える～」をテーマとして、上記日程で開催致します。
新潟水俣病と SMON に始まる新潟大学脳研究所神経内科の歴史と今日の社会状況を踏まえ、神経内科が社会において果たすべき役割を改めて考える機会としたいと思います。
2. 学術大会会場：朱鷺メッセ（新潟コンベンションセンター）
〒 950-0078 新潟県新潟市中央区万代島 6-1
ホテル日航新潟
〒 950-0078 新潟県新潟市中央区万代島 5-1
3. 当日参加登録：学会より事前に送付する、「当日参加登録ハガキ」をご持参ください。
4. 参加費：

①会員（医師・非医師）	当日 18,000 円／事前 15,000 円
②非会員（医師・協賛企業社員）	当日 21,000 円／事前 18,000 円
③メディカルスタッフ	3,000 円 ※1
④大学院生・初期研修医	3,000 円
⑤海外からの参加者	3,000 円
⑥ Travel Award 対象者	3,000 円 ※2

※ 学部学生・国内留学生は無料
※1 5 月 23 日（土）のメディカルスタッフ教育セミナーのみにご参加のメディカルスタッフは、参加費 1,000 円で、当日（23 日）の他のプログラムも聴講が可能です。
※2 Travel Award に採用された方が対象となります。
5. 託児所：会期中、会期中に託児所をご用意いたします。お申し込み方法などにつきましては、大会ホームページ「託児所」をご確認ください。（<http://www.congre.co.jp/neuro56>）
6. 宿泊：会期中のご宿泊についてご案内しております。お申し込み方法につきましては、大会ホームページ「宿泊案内・エクスカッション」よりご確認ください。（<http://www.congre.co.jp/neuro56>）
7. お問い合わせ：
【大会長校事務局】
新潟大学脳研究所 臨床神経科学部門神経内科学分野
〒 951-8585 新潟県新潟市中央区旭町通 1-757
【大会運営事務局】
〒 102-8481 東京都千代田区麹町 5-1 弘済会館ビル 株式会社コングレ内
TEL：03-5216-5318 FAX：03-5216-5552
E-mail：neuro56@congre.co.jp

プログラム

本学術大会では、下記のプログラムを予定しております。

■大会長講演：5月21日（木）13:30～14:15

演者：西澤 正豊（新潟大学脳研究所臨床神経科学部門神経内科学分野）

■プレナリーレクチャー1：5月21日（木）11:20～12:05

「Immunologic mechanisms in multiple sclerosis, Alzheimer's disease and ALS」

演者：Howard L. Weiner（Brigham and Women's Hospital, USA）

■プレナリーレクチャー2：5月22日（金）11:20～12:05

「Demyelination and Neurodegeneration in Progressive Multiple Sclerosis」

演者：Hans Lassmann（Center for Brain Research, Medical University of Vienna, Austria）

■特別講演：5月23日（土）14:15～15:15

「アクアポリン4：アルツハイマー病予防の救世主？」

演者：中田 力（新潟大学脳研究所）

■2014年学会賞・植林賞受賞者招待講演：5月21日（木）14:45～15:00

2014年学会賞受賞演題「運動ニューロン疾患の分子病態解明に基づく治療標的開発」

演者：勝野 雅央（名古屋大学大学院医学系研究科神経内科）

■Neuroscience Frontier Symposium 1：5月21日（木）8:00～10:00

「Lessons learned at the scintillating intersection of neuroscience and immunology」

座長：Alison M. Goate（Dept. of Neuroscience, Mount Sinai Medical School / Dept. of Psychiatry, Washington University School of Medicine, USA）

藤原 一男（東北大学多発性硬化症治療学）

演者：Wekerle Hartmut（Hertie Senior Professor's group, Max Planck Institute of Neurobiology, Germany）「Multiple Sclerosis Basic Immunology」

山下 俊英（大阪大学大学院医学系研究科・生命機能研究科分子神経科学）「Multiple sclerosis; neuroscience」

Daniel W. McVicar（Cancer and Inflammation Program, National Cancer Institute-Frederick, USA）「TREM-2 in inflammation and cancer」

Alison M. Goate（Mount Sinai Medical School, USA）「Alzheimer disease Genetics Implicates Innate Immunity in disease risk」

■Neuroscience Frontier Symposium 2：5月22日（木）13:30～15:30

「Molecular mechanisms of Parkinson's disease: what do we know and where are we headed?」

座長：Werner Poewe（Innsbruck Medical University, Department of Neurology, Austria）

高橋 良輔（京都大学神経内科）

演者：Werner Poewe（Innsbruck Medical University, Department of Neurology, Austria）「The evolving concept of PD」

松田 憲之（東京都医学総合研究所蛋白質リサイクルプロジェクト）「Molecular mechanism of PINK1-Parkin pathway to suppress Parkinson's disease」

今居 讓（順天堂大学医学研究科パーキンソン病病態解明研究講座）「Neurodegenerative mechanism of Parkinson's disease-associated kinase LRRK2」

Dimitri Krainc（Northwestern University Feinberg School of Medicine, USA）「Lysosomal Dysfunction in Synucleinopathies」

David C. Rubinsztein（Cambridge Institute for Medical Research, UK）「Autophagy in Parkinson's disease and neurodegeneration」

■社会の中の神経学：5月20日（水）～5月23日（土）

5月20日（水）

「研究倫理と臨床研究：何が社会から求められているか？」

「中毒性神経障害の診方」

「Patient safety を目指して～徘徊と転倒の問題を考える～」

5月21日（木）

「神経難病診療における自己決定支援」

「神経疾患と自動車運転」

「新しい難病基本法のもと、地域での神経難病医療への現実的な対応を探る」

「スポーツ神経学—神経内科医の役割—」

5月22日（金）

「大規模災害後の神経疾患と神経内科医の果たす役割」

「日常診療における倫理」（パネルディスカッション）

5月23日（土）

「はたらく人とてんかん」

■ホットトピックス：5月20日（水）～5月23日（土）

5月20日（水）

「ミトコンドリア病 MELAS の治療薬開発の最前線」

「子宮頸がんワクチン関連神経障害の症候・病態・治療—神経内科医がとりくむべき新規の自己免疫脳症—」

「認知症診断におけるタウイメージングの進歩」

「Molecular pathogenesis and current insights into therapies for spinocerebellar ataxias with microsatellite repeat expansions」

「ロボットリハビリテーションは随意運動機能回復に有効か？—臨床試験と展望」

5月21日（木）

「Pivotal role of oligomers in pathogenesis and therapy of dementia」

「培養細胞・モデル動物研究から臨床イメージングへ：プローブ動態および画像所見対比に基づく病態理解と薬剤開発」

「Preclinical/Prodromal Alzheimer's Disease: Clues to Prediction, Diagnosis, and Prevention」

5月22日（金）

「Unsolved clinical and genetic questions in multiple system atrophy」

「運動ニューロン疾患の分子病態・治療法開発の最先端」

「The cutting edge of Clinical Application of TMS」

「日本神経化学学会企画シンポジウム：グリアからみた神経疾患」

「Current concept of neuromyelitis optica spectrum disorders (NMOSD)」

「最新の可視化技術による神経系の生理・病態の解析」

5月23日（土）

「脳梗塞急性期の病態と治療のターゲット—Neurovascular unit をいかに守るか」

「神経リハビリテーションにおける neuro-modulation の可能性」

「Gene therapy for neurological disorders」

「幹細胞研究最前線」

■シンポジウム：5月20日（水）、5月23日（土）

5月20日（水）

「神経疾患の医師主導治験の成功に向けて」

5月23日（土）

「日本神経学会教育施設における診療・研修の現況と問題点—専門医に必要な当該領域の素養と利用可能な教育資源、研修機会—」

「他学会に学ぶ男女共同参画」

■教育講演：5月20日（水）～5月23日（土）

5月20日（水）

「見逃してはいけない治療可能な代謝性神経疾患」

「 α シヌクレインと細胞毒性発現メカニズム」

5月21日（木）

「International progress of epilepsy treatment」

「神経疾患においてミクログリアはもはや脇役ではない」

「脳梗塞病態の解明と Translational Research」

「自己免疫が関与する内科・神経疾患の診断と治療」

「遺伝性神経疾患 update」

5月22日（金）

「免疫性ニューロパチーの病態・治療研究の最先端」

「分子病理画像と症候」

「急性期脳梗塞に対する血管内治療—新たな時代における神経内科医の役割—」

「代謝性神経疾患の病態解明と Disease Modifying Therapy の開発」

「片頭痛の病態機序理論の新たな展開」

5月23日（土）

「生活習慣病とアルツハイマー病」

「Current therapeutic management of bacterial meningitis」

「Don't miss it: the up-to-date information useful in the management of iNPH, and its importance for neurological practice」

■教育講演ベーシック：5月20日（水）～5月23日（土）

5月20日（水）

「明日からの臨床に役立つパーキンソン病診断 up to date」

「認知と行動の神経内科学」

5月21日（木）

「一歩進んだ ALS 診療」

「パーキンソン病の移植医療 過去, 現在, 未来」

「超急性期脳梗塞画像診断を議論する」

5月22日（金）

「脳卒中エキスパートを目指す神経内科医のための循環器学基礎講座」

「神経内科診療にリハビリテーションの視点を」

5月23日（土）

「聞くだけで一段階上達できる：エキスパートの電気診断スキル」